

平成30年度事業評価

課別評価シート

【資源環境部 リサイクル清掃課】

[環境保護]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《 検討の視点 》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
 - 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
 - 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
 - 新規事業の必要性
 - 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分
- 【方向性の類型】
- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
 - 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
 - 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
 - 終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの

【環境保護】

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧 | P.2 |
| 2 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.3 |

1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【資源環境部 リサイクル清掃課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。
基本構想の【環境保護】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	4-2 環境保護
将来像	環境にやさしい取組を推進するまち

中間アウトカム (B)
各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている

基本構想実施計画事業	
①	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進 リサイクル清掃
②	リユース(再使用)の推進 リサイクル清掃
③	資源の集団回収支援 リサイクル清掃
④	資源回収事業 リサイクル清掃他
⑤	事業系ごみ対策 リサイクル清掃
	みどりのふれあい事業 再掲 みどり公園
	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進 環境政策
	文京ecoカレッジ 環境政策他
	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進 再掲 環境政策

2 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【資源環境部 リサイクル清掃課】

【環境保護】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（リサイクル清掃課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

中間アウトカム (B) 各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている

(1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進		3Rの推進、ごみ量の抑制などに関する理解が深まり、ごみが減量している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	リサイクル清掃審議会	回	1			1	10
	事業費(千円)		3,343				
	行政コスト(千円)		—				
	所要人員		0.561				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名		事業目的				
②	リユース(再使用)の推進		リユースに関する理解が深まり、ごみが減量している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	ステージ・エコ(年間申込数)	件	378			378	1,035
	フードドライブ(年間回収量)	kg	609			609	2,709
	事業費(千円)		498				
	行政コスト(千円)		—				
所要人員		0.359					
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	フードドライブについては、ステージ・エコや区の窓口等へ持参が困難な方からも回収ができるような方法を検討する必要があります。				

No.	事業名		事業目的				
③	資源の集団回収支援		資源の集団回収が活発に行われ、ごみが減量している				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	集団回収団体新規登録	団体	14			14	45
	事業費(千円)		29,443				
	行政コスト(千円)		15,249				
	所要人員		1.091				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	資源の集団回収はごみ減量と区民意識を高めるとともに、地域コミュニティ形成にも効果的です。今後は、新規団体登録を促進するために、各町会等とも連携を取りながら啓発活動を行っていきます。				

No.	事業名		事業目的				
④	資源回収事業		資源が有効利用され、ごみが減量している				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	集積所回収・拠点回収を通じた回収	kg	8,719,258			8,719,258	27,036,000
事業費(千円)			330,806				
行政コスト(千円)			—				
所要人員			24.003				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	資源となる雑紙等がごみとして分別されていることがあるため、区報、HP、広報誌等を使い、さらなる分別徹底の啓発を行っていきま				

No.	事業系ごみ対策		事業系ごみの減量と適正処理が促進されている		
			H29	H30	H31
主な取組	事業用大規模・中規模の所有者に対しごみ減量や適正処理・リサイクル推進の指導を行いました。				
事業費(千円)			52		
行政コスト(千円)			12,087		
所要人員			1.817		
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	廃棄物管理責任者への指導内容の継続性が図られていないケースがあります。また、事業者に対する雑紙や生ごみの排出指導が多くなっているため、引き続き指導の徹底を図っていきます。		

No.	事業名	事業目的
他課	みどりのふれあい事業	まちの緑化が推進されている
他課	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進	温室効果ガス排出抑制に関する理解が深まり、排出量が抑制されている
他課	文京ecoカレッジ	低炭素社会・循環型社会等に関する理解が深まり、区民の主体的な取組が行われている
他課	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる

(2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (B)	各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている		
課題等を有する計画事業の有無	有		

事業名 及び 事業目的	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進 3Rの推進、ごみ量の抑制などに関する理解が深まり、ごみが減量している	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	3Rの推進については、文京ecoカレッジ等を通じて普及・啓発活動を行っていますが、区内リサイクル率は横ばい状態が続いています。また、ごみの排出量については減少傾向にありますが、現行の一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)で設定した目標値には達していない状況です。次期、一般廃棄物処理基本計画改定において、新たな基本方針や具体的施策を盛り込むことにより、これらの課題解決を目指します。		

事業名 及び 事業目的	リユース(再使用)の推進 リユースに関する理解が深まり、ごみが減量している	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	排出されるごみの中には、資源として再使用できるものや、未利用食品などが数多く見受けられます。現在、各種事業の中で、リユースに関する理解が深まるよう工夫を凝らして啓発活動を行っていますが、引き続き、より具体的なリユースの方法を周知していきます。また、未利用食品については、新たな回収方法等を検討していきます。		

事業名 及び 事業目的	資源の集団回収支援 資源の集団回収が活発に行われ、ごみが減量している	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	地域の方々グループをつくって資源の集団回収事業をおこなっており、資源の36%を占めています。区民の方々に集団回収の始め方やメリット等を記載したチラシを配布していますが、新規登録グループは少ないのが現状です。さらに、既存グループにおいても、その活動が低下している場合があります。活発な活動を続けていただくためにも、グループ役員や町会関係者等と連携を取りながら、有効な支援方法を検討していきます。		

事業名 及び 事業目的	資源回収事業 資源が有効利用され、ごみが減量している	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	缶、びん、食品トレイ、衣類及びインクカートリッジ等については、従来からの周知啓発の成果もあり、資源回収事業が根付いています。ただし、段ボールについては、宅配便の活用が増えて増加傾向にあり、資源としての周知がさらに必要です。今後も、引き続き資源回収の周知を徹底していきます。		

事業名 及び 事業目的	事業系ごみ対策 事業系ごみの減量と適正処理が促進されている	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	事業用延べ床面積が1,000㎡を超える建築物に関して、立入検査を行い、排出者責任の意義を説明するとともに、ごみ減量リサイクル・適正処理等を指導しています。しかしながら、事業系ごみの排出量は横ばい状態にあり減量につながっていないため、今後は、廃棄物責任者講習会の内容の改善や対象人員の拡大等を検討していきます。		

評価実施のチェックリ

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分